



# 木曽林務課だより

## 8月

強い夏の日差しとセミの鳴き声の中、身近な里山を手入れするための講習会が、「長野県森林づくり県民税」を活用して宮の越里山整備利用地域で行われました。

### チェーンソー、刈払機を安全に使うための研修が行われました

木曽町日義の「宮の越地域里山整備利用推進協議会」では、身近な里山の森林整備を「長野県森林づくり県民税」を活用した「県民協働による里山の整備・利用事業」で進めています。今回その取組みの一つとして、安全に森林作業を実施するための「初心者向け刈払機、チェーンソーの安全講習会」を開催しました。

#### 安全作業の基本は、「目立て」から

今回の研修は「刈払機」、「チェーンソー」を、正しく、安全に使うことを目的に行われました。

チェーンソーの刃が切れないと、時間もかかりますし、無駄な体力を使ったり、無理な使い方で事故が発生しやすくなります。そこで、安全作業を行うため、基本となる「目立て」を学びました。参加者の皆さんは、講師の指導の下、目立てされた切れる刃で実習を行い、その違いを体験しました。

また、刈払機については、動力をしっかり刃に伝えるために重要なグリースアップ等の日頃の手入れを学びました。



チェーンソー目立て作業の講習



刈払機歯車室のグリースアップ作業の講習

#### 安全な伐倒は、適切な受け口から

刈払機、チェーンソーの整備方法、基本操作、安全な作業の進め方の説明とともに、実際に地面に埋め込んだ丸太を使って、チェーンソー作業の伐倒手順を学びました。

目標方向に着実に伐倒するための受け口の作成方法を練習した後、切り口を参加者全員で観察し、安全に伐倒するために大事な「つる」の重要性を確認するなど、基本に忠実な作業が安全につながることを学べる講習となりました。

身近な作業に潜んでいるリスクをこうした取り組みで着実に減らし、事故が起きないようにしてほしいと思います。



安全な伐倒作業の実習